

燃料電池

燃料電池とは、水素と空気中の酸素を結合させることによって電気と熱を作り出すものです。発電原理は、水に電流を流すことで水素と酸素に分解する「水の電気分解」作用の逆反応です。発電の際の廃棄物は水しか排出されず、振動も騒音もないため、建築物、自動車等のエネルギー供給装置として注目されています。

コージェネレーション

コージェネレーションとは、石油や天然ガスを燃焼させて発生した蒸気で発電を行うと同時に、発生した排熱を回収し、給湯や冷暖房の熱源として利用する熱電供給システムです。熱効率は通常の火力発電が40%以下に対し、コージェネレーションは70～80%と高くなっています。

エコキュート

エコキュートとは、二酸化炭素(CO₂)を冷媒として使用し、空気中の熱を利用する給湯システムです。

このシステムを採用した場合、環境負荷の低減等の観点から、設備機器の部分の床面積について建築基準法上の容積率の緩和措置を受けることができます。



【問い合わせ先】

内容	問い合わせ先	電話番号等
「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」に関すること	区建築課	P30 参照
屋上緑化の情報提供に関すること	広島市都市整備局 緑化推進部緑政課 緑の施策係	504-2396
新エネルギーの助成等に関すること	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構	044-520-5100 http://www.nedo.go.jp/
エコキュートの設備機器部分の容積緩和措置に関すること	広島市都市整備局 指導部建築指導課 第一指導係	504-2287

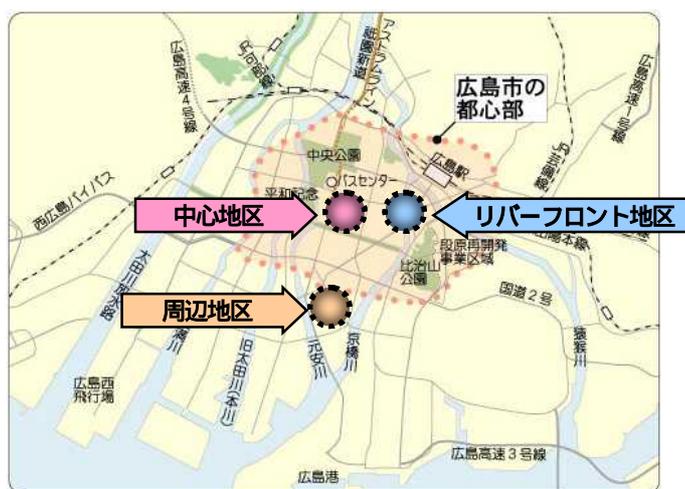
第4章 地区別のモデルプラン

1 モデルプランの位置

豊かで魅力ある都心居住の実現のためには、都心におけるマンションのあり方について、市民や事業者と行政がイメージを共有することが重要となります。

ここでは、第3章で記述した内容を分かりやすくするため、都心部における特徴的な3つの地区を選択し、「モデルプラン」として示しています。

1. プランA：広島の特徴の一つである河川空間を生かしたリバーフロント地区
2. プランB：商業地区を主体とし賑わいを誘導する都心部の中心地区
3. プランC：都心部からやや離れた居住を主体とする周辺地区



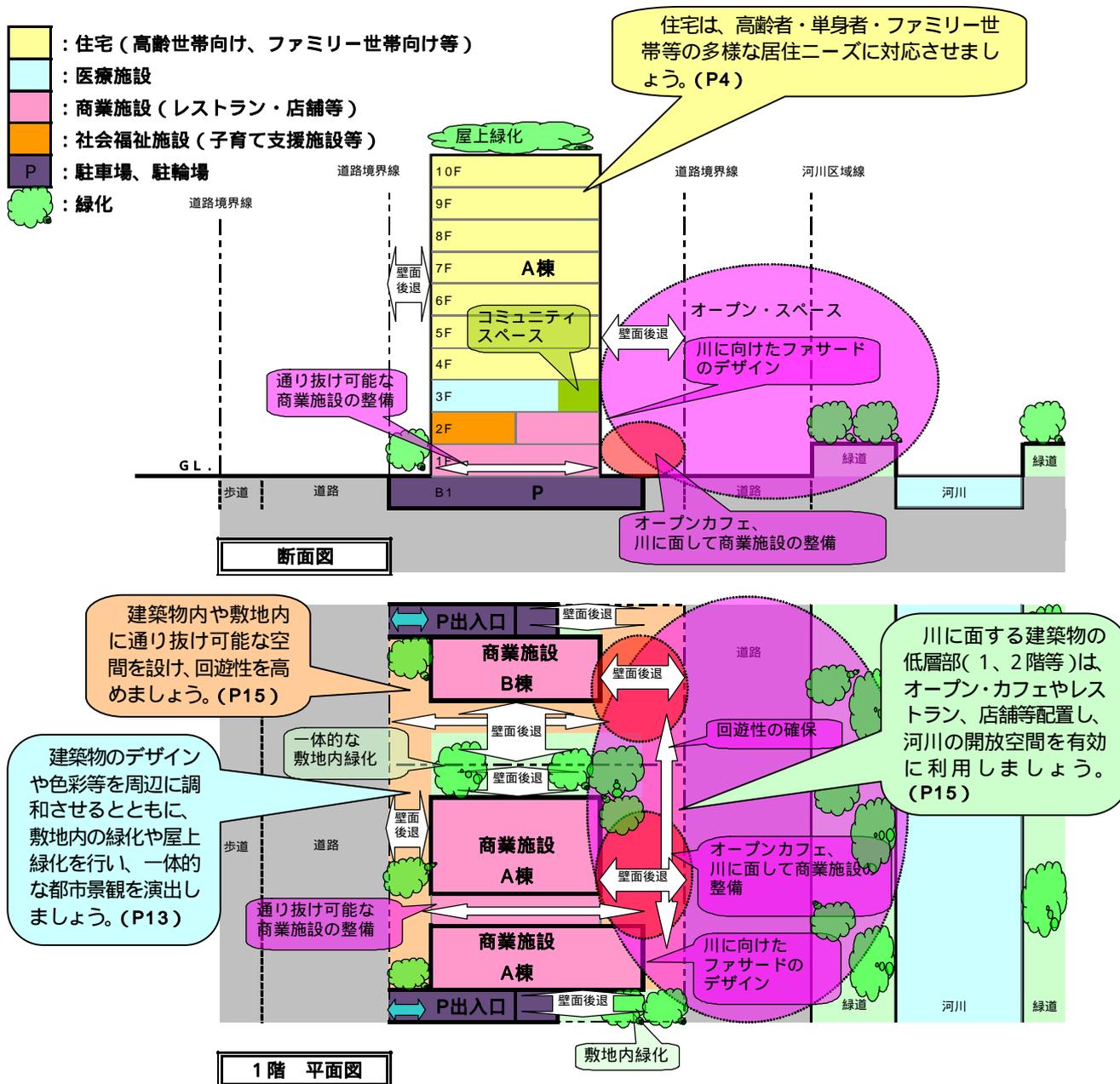
【モデルプラン位置図】

- 1 モデルプランのイメージ図は、各地区の代表的な形態を表現したものであり、実施にあたっては地区の特性に応じて細かな配慮が必要となります。
- 2 建築計画にあたっては、地区の環境・景観等の特性を踏まえるとともに、居住者、地域住民や事業者は、相互に尊重し合い、その環境・景観の便益を継続的に享受できるよう努める必要があります。

2 モデルプラン A ~リバーフロント地区~

目標：川に面している敷地は、川への眺望やオープンスペースを有効に活用しましょう。

リバーフロント地区（リバーフロント住宅）～景観への配慮～



【 川に面したオープン・レストラン（橋本町） 】

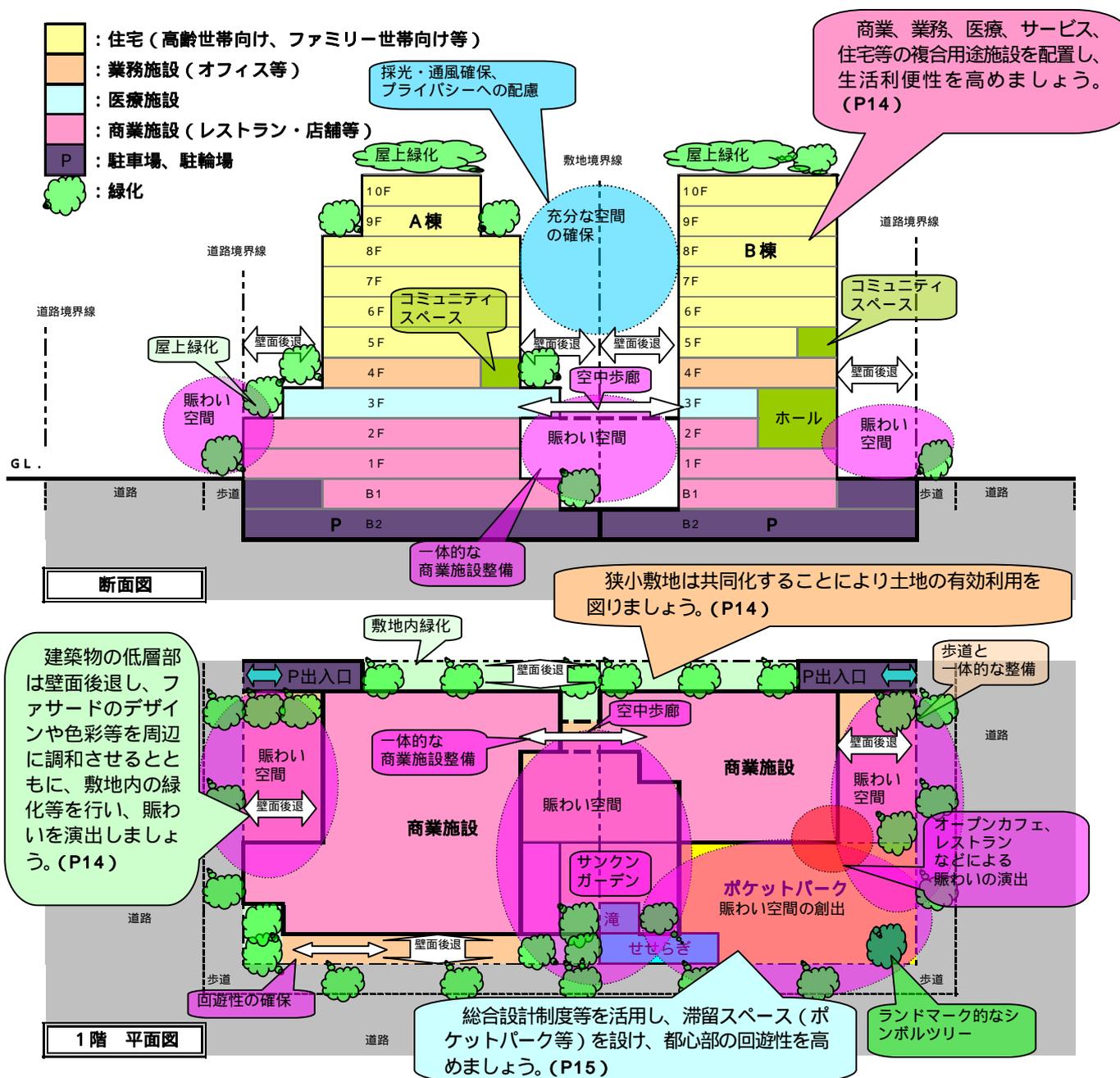


【 通り抜けとオープン・カフェ（橋本町） 】

3 モデルプラン B ~都心部の中心地区~

目標：狭小敷地の共同化を図るとともに商業系の施設を配置し、生活利便性を高め、賑わいを演出しましょう。

中心地区（賑わいのあるマンション）～賑わいの創出～



【 オープン・カフェのある賑わい空間 】



【 ポケットパーク的なオープンスペース(上八丁堀) 】

